多摩都市モノレール延伸事業（上北台～箱根ケ崎）及び関連する都市計画道路

事業概要及び用地測量説明会

東京都北多摩北部建設事務所

本日の説明について

1　事業概要

2　工事の施工について

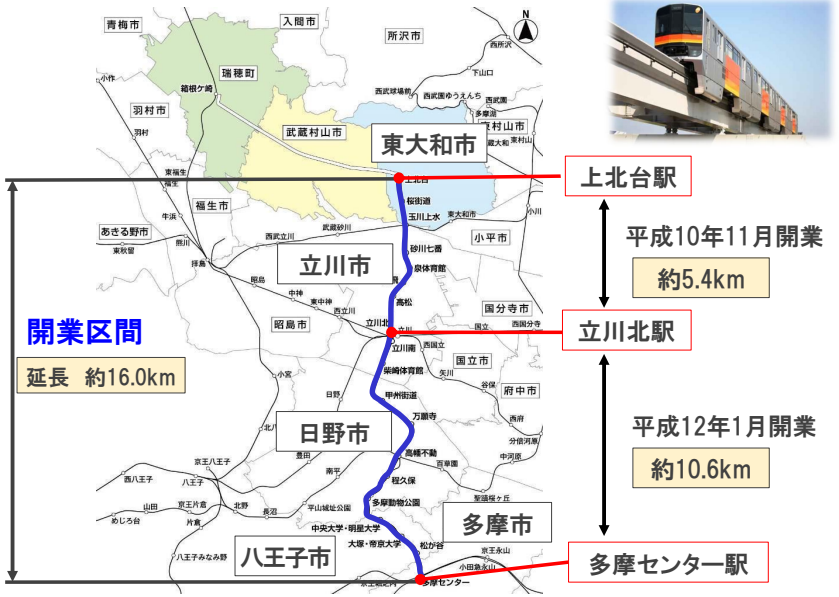
3　事業の進め方

4　用地測量の進め方

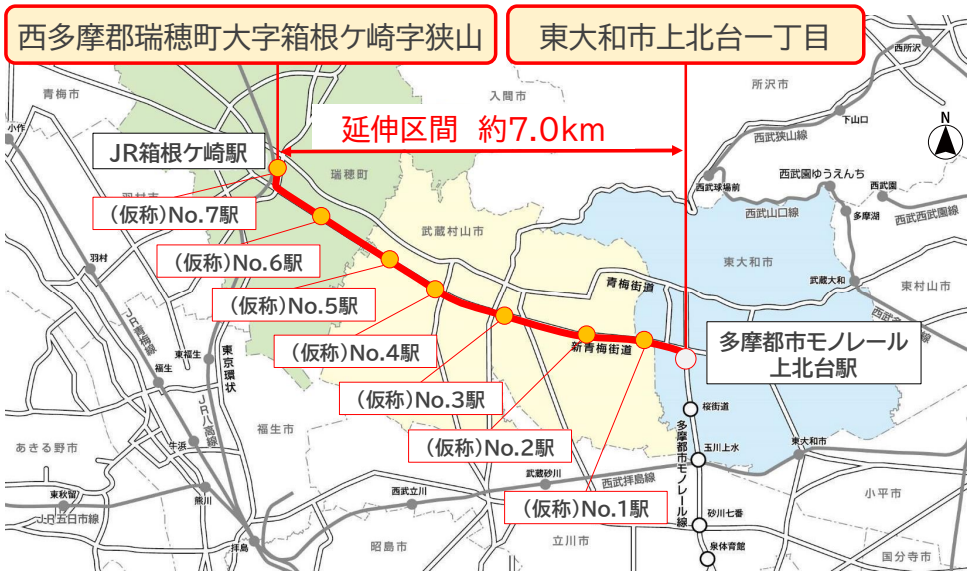
5　用地取得に伴う補償のあらまし

1　事業概要

事業のあらまし・目的



事業のあらまし・目的



事業のあらまし・目的

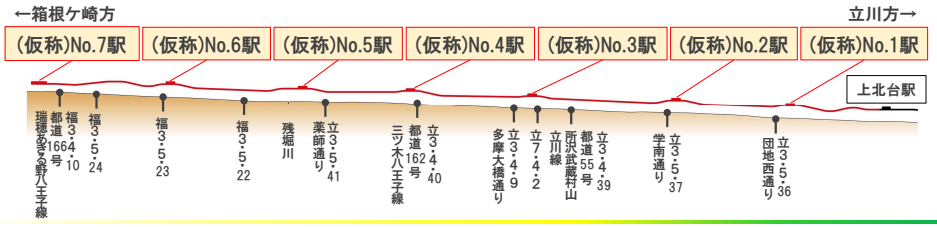
期待される整備効果

- 公共交通ネットワークの強化
- アクセス利便性の向上
- 地域の活力や魅力の向上

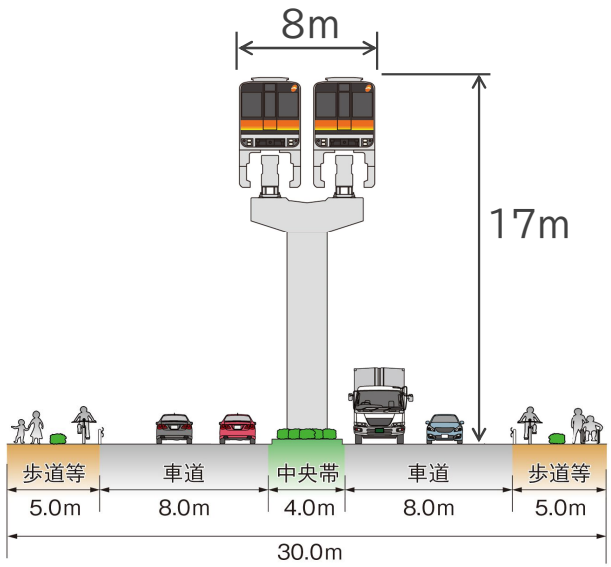
事業の概要について

平面図

縦断図

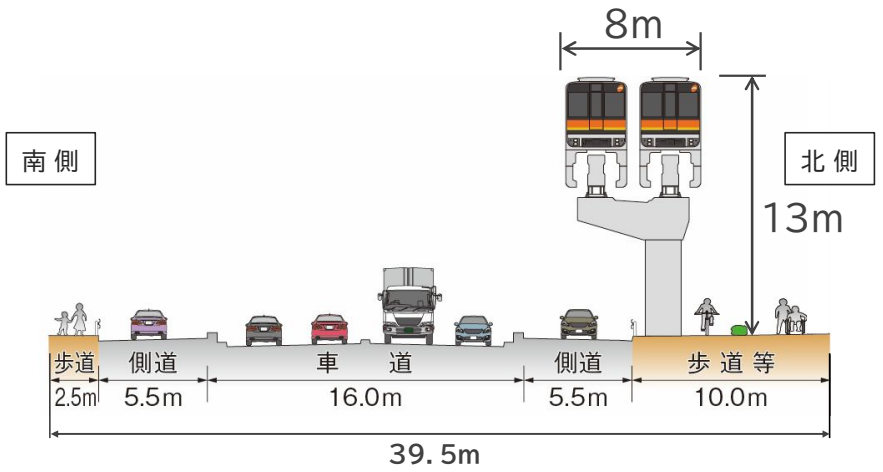


標準横断図　一般部①



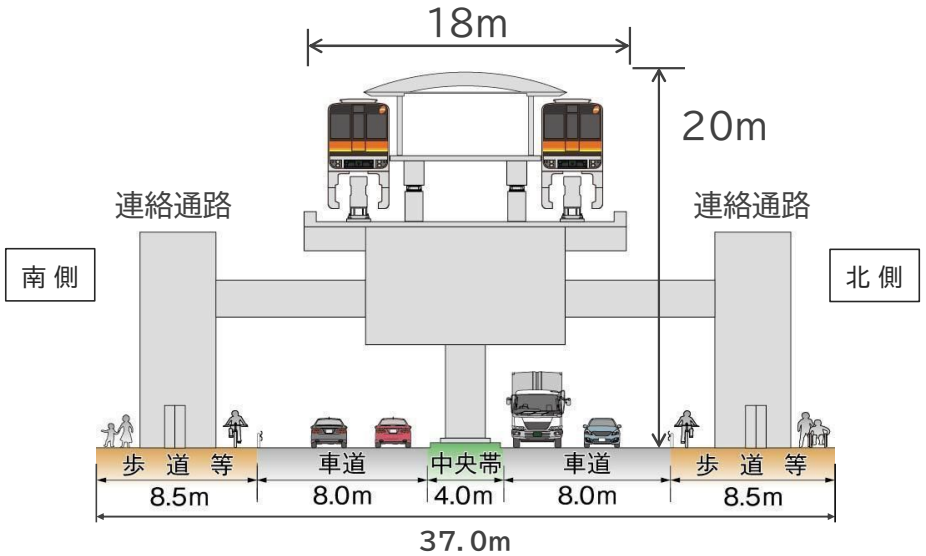
※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。

標準横断図 一般部②箱根ケ崎アンダーパス部付近



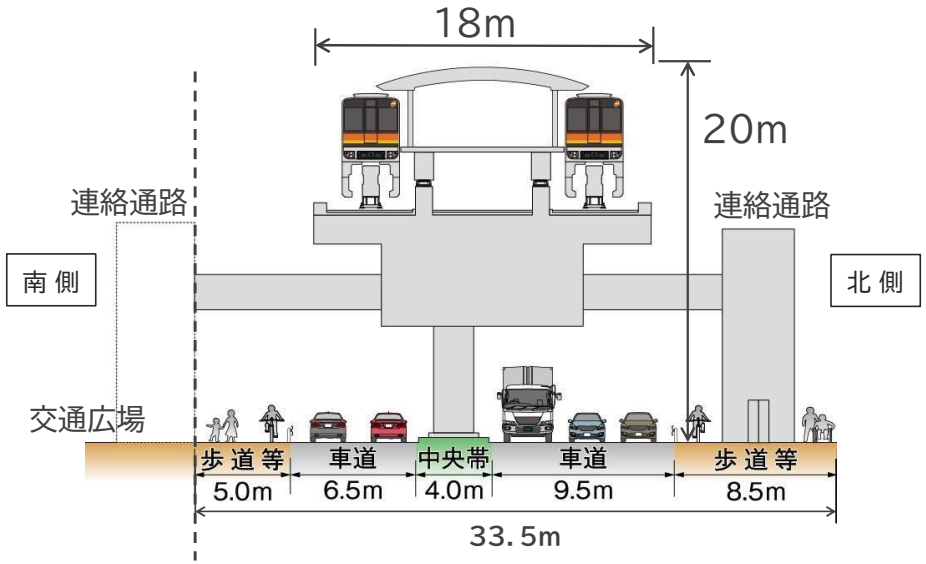
※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。

標準横断図 駅部(仮称)No.1, 2, 4, 5, 6駅



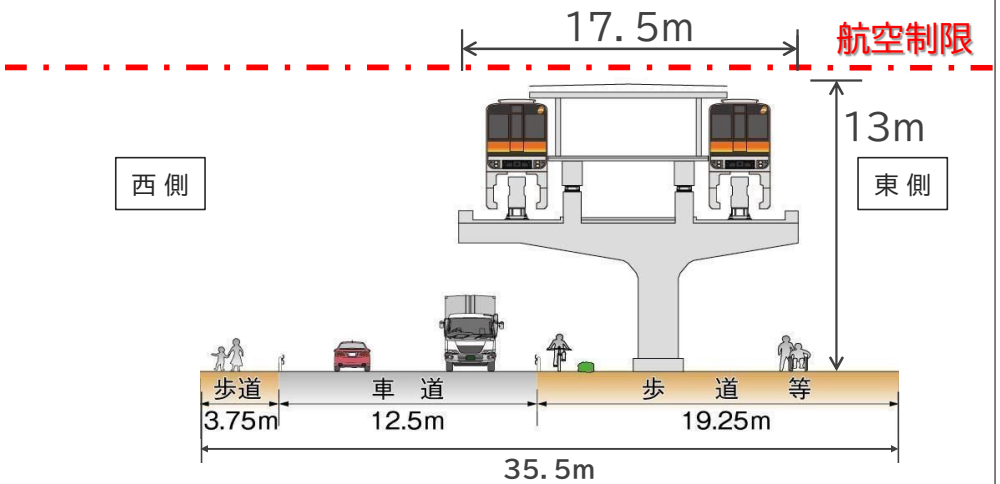
※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。
※各駅の連絡通路には、エレベーター、エスカレーター、階段が設置されます。

標準横断図 駅部(仮称)No.3駅



※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。
※各駅の連絡通路には、エレベーター、エスカレーター、階段が設置されます。

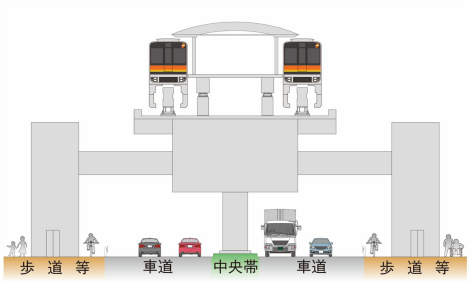
標準横断図 駅部(仮称)No.7駅



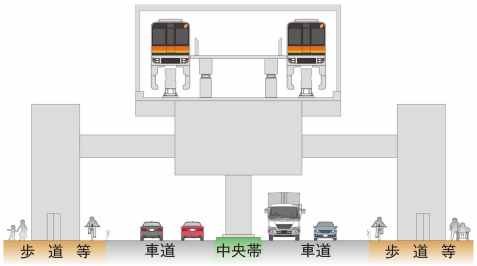
※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。
※各駅の連絡通路には、エレベーター、エスカレーター、階段が設置されます。

駅舎の構造について

（現行計画の構造）



（改良を検討している構造）



※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。

【改良による主な効果】
・ホーム内への風雨等の吹込みを防止できる
・ホーム上の柱が減り利用者が通行しやすくなる　など

2　工事の施工について

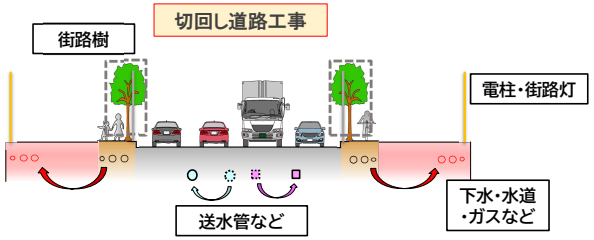
施工の流れ

現　況

切回し道路工事

モノレール工事中

事業完了



※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。

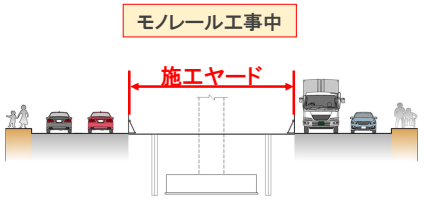
施工の流れ

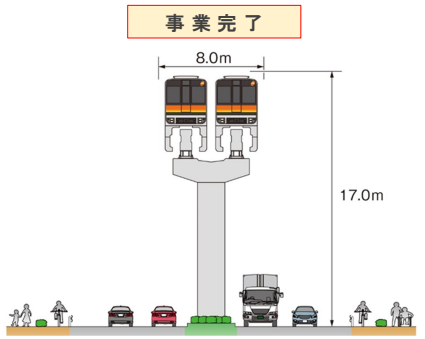
現　況

切回し道路工事

モノレール工事中

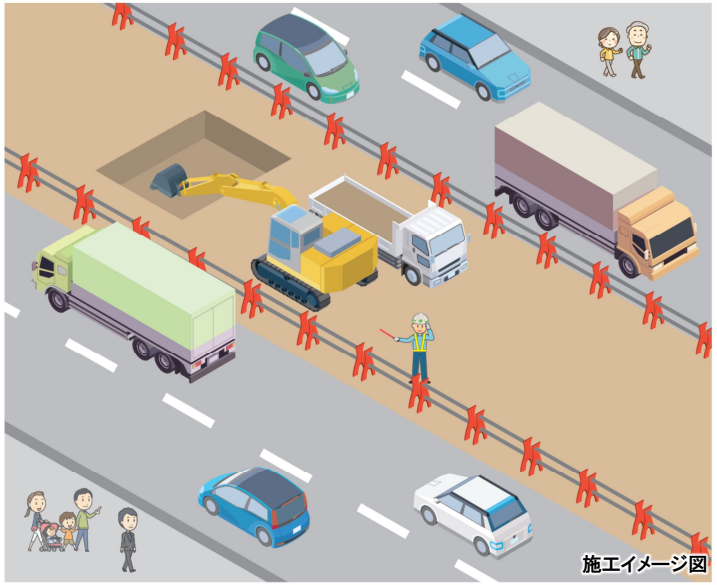
事業完了





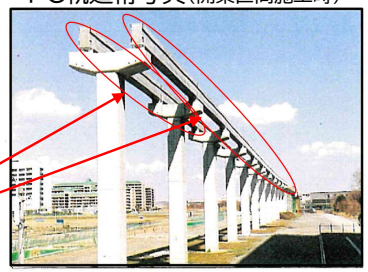
※幅員構成、整備形態や駅舎形状については、場所によって異なる場合があります。

施工の流れ

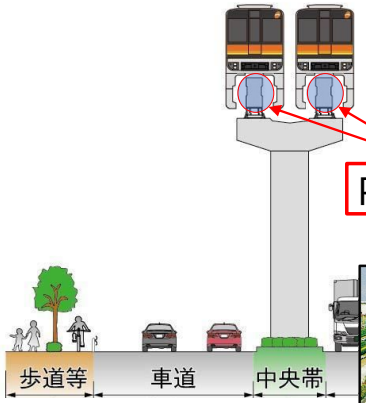


PC軌道桁製作場（PC軌道桁とは）

PC軌道桁写真（開業区間施工時）

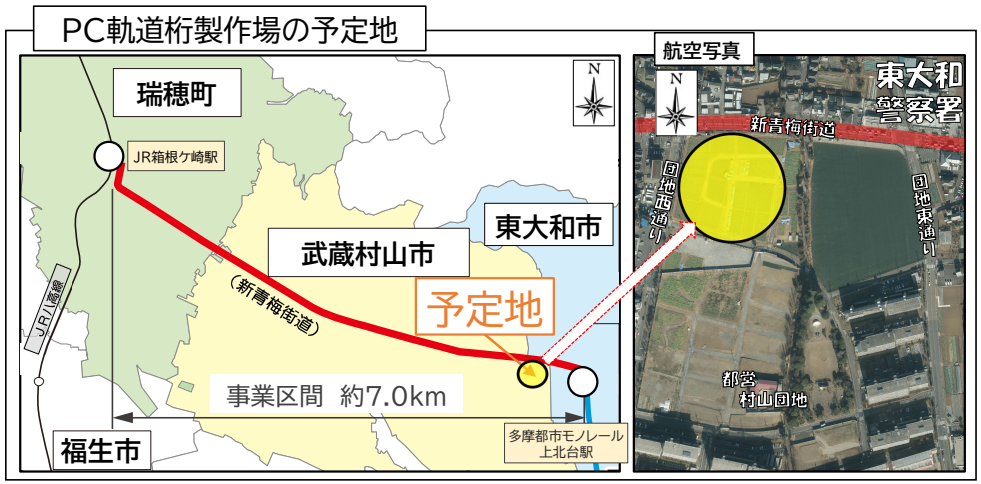


断面図



PC軌道桁製作場写真（開業区間施工時）

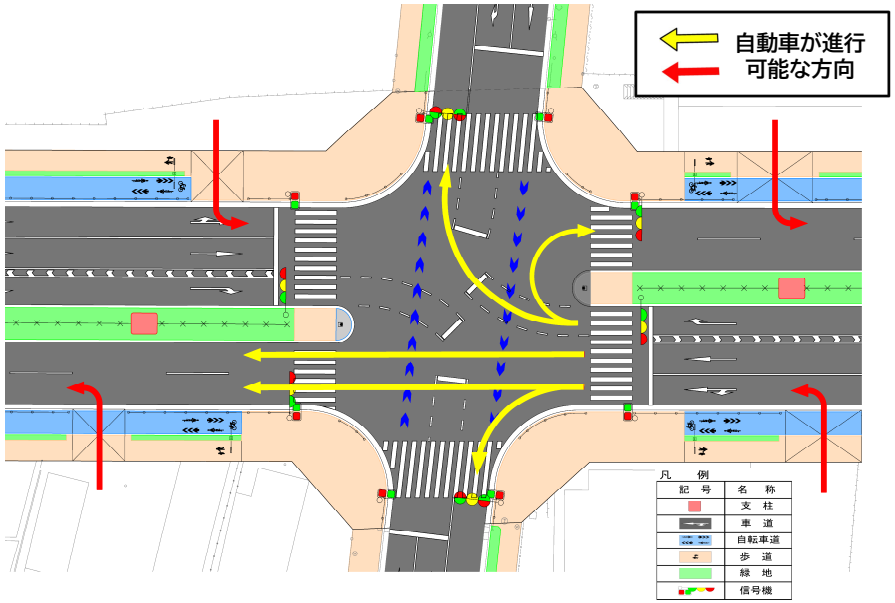
PC軌道桁製作場（予定地）



多摩都市モノレール完成イメージ動画

※この動画はイメージであり実際とは異なる所があります。

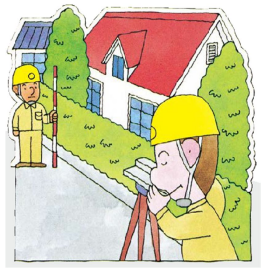
交差点交通処理図（例）



3　事業の進め方

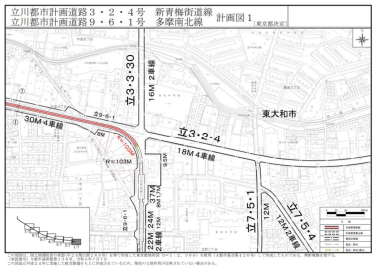
これまでの事業の流れ

①現況測量の実施



計画道路及びその周辺の建物や
道路を測量し、現況平面図を作成

②都市計画の決定
【令和7年3月】

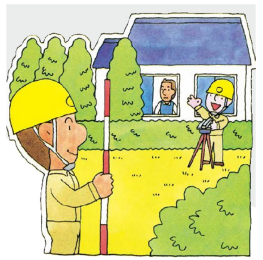


多摩都市モノレール延伸事業に
関連する都市計画手続きが完了

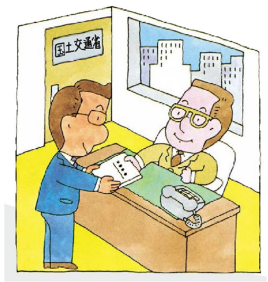
今後の事業の流れ（1）

③事業概要及び測量説明会の実施（本日開催）

④用地測量の実施



⑤都市計画事業認可（事業着手の手続き）

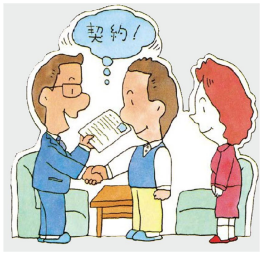


⑥用地説明会の開催

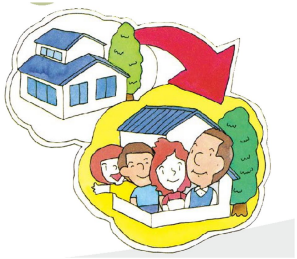
今後の事業の流れ(2)

⑦用地折衝・協議

⑧契約・補償金の支払い

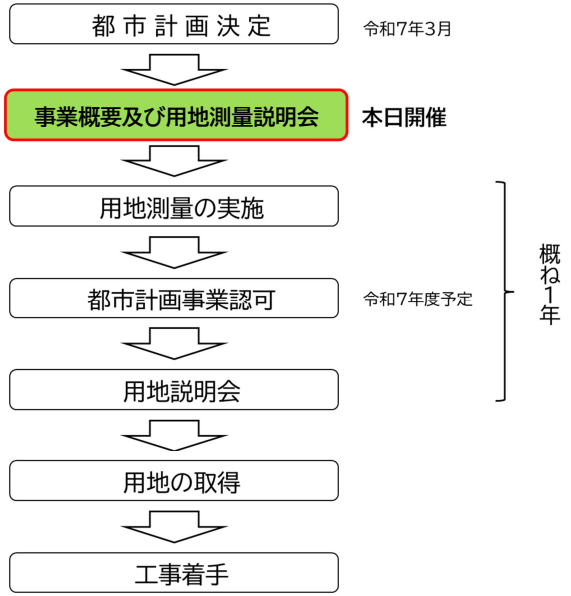


⑨物件移転



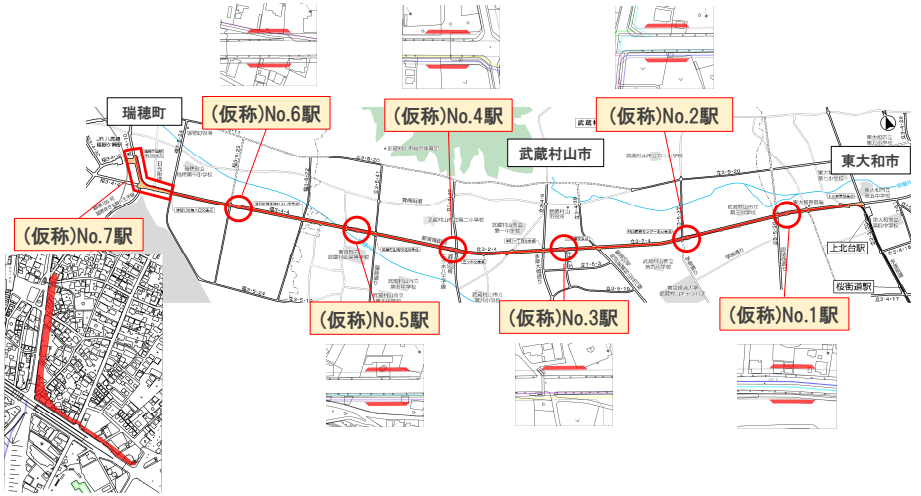
⑩工事に関するお知らせ(工事着手)

工事着手までの今後の流れ



4 用地測量の進め方

用地測量範囲



用地測量について

用地測量について

この測量は、道路を整備するために必要となる土地について、周辺の土地との境界を確認し、道路として取得させていただく、土地の面積を求めることを目的としています。

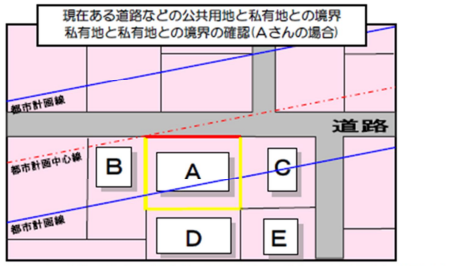
用 地 測 量 の 流 れ

1. 境界を確認するための資料収集等
土地の境界を確定するために必要となる資料等を調査します。

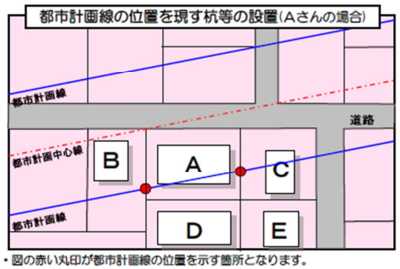
2. 境界を確認するための現地立会い
現地で土地の境界を確認します。

3. 境界点の測量
土地の境界点を測量します。

4. 都市計画線の位置を現す杭等の設置
現地に都市計画線の位置を示す杭を設置します。



・図の赤色の線が、現在ある道路などの公共用地と私有地との境界を確認する箇所です。
・図の黄色の線が、私有地と私有地との境界を確認する箇所です。



・図の赤い丸印が都市計画線の位置を示す箇所となります。

用地測量の流れ

1. 境界を確認するための**資料収集等**

2. 境界を確認するための**現地立会い**

3. **境界点の測量**

4. 都市計画線の位置を示す**杭等の設置**

1. 境界を確認するための資料収集等

① 土地の境界を確認するために必要な公図や土地登記簿等を登記所から取得します。

② 皆様方の宅地、畑等にある既存の境界杭等を確認させていただきます。

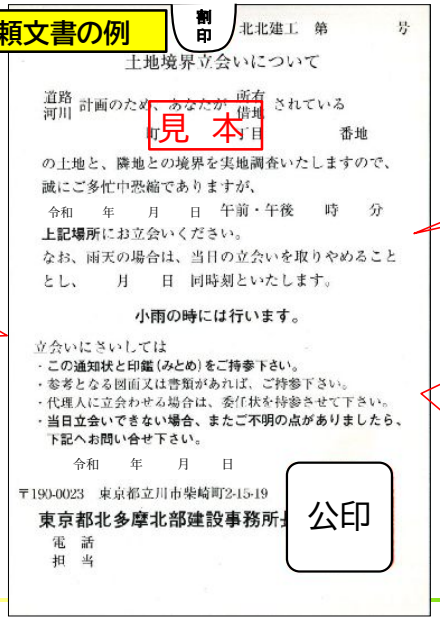
2. 境界を確認するための現地立会い

① 現在ある道路などの公共用地と私有地との境界の確認

② 私有地と私有地との境界の確認

境界立会いの通知について

立会依頼文書の例



印

北北建工　第　　号

土地境界立会いについて

道路
河川　計画のため、あなたが　所有　されている
　　借地
町　丁目　　番地

見　本

の土地と、隣地との境界を実地調査いたしますので、誠にご多忙中恐縮でありますが、

令和　年　月　日　午前・午後　時　分
上記場所にお立会いください。
なお、雨天の場合は、当日の立会いを取りやめることとし、　月　日　同時刻といたします。

小雨の時には行います。

立会いにさいしては
- **この通知状と印鑑（みとめ）**をご持参下さい。
- 参考となる図面又は書類があれば、ご持参下さい。
- 代理人に立会わせる場合は、委任状を持参させて下さい。
- **当日立会いできない場合、またご不明の点がありましたら、下記へお問い合せ下さい。**

令和　年　月　日

〒190-0023　東京都立川市柴崎町2-15-19
東京都北多摩北部建設事務所
電　話
担　当

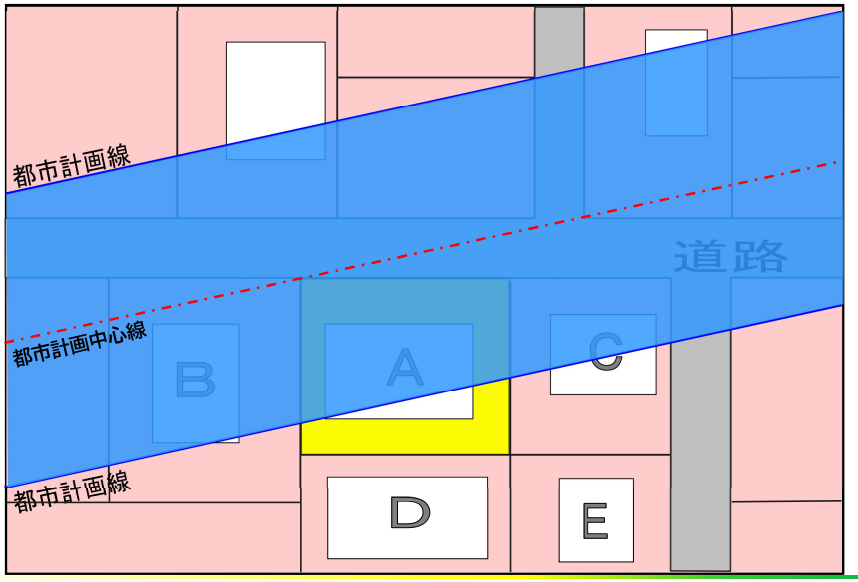
公印

土地境界の参考となる個人でお持ちの図面又は書類

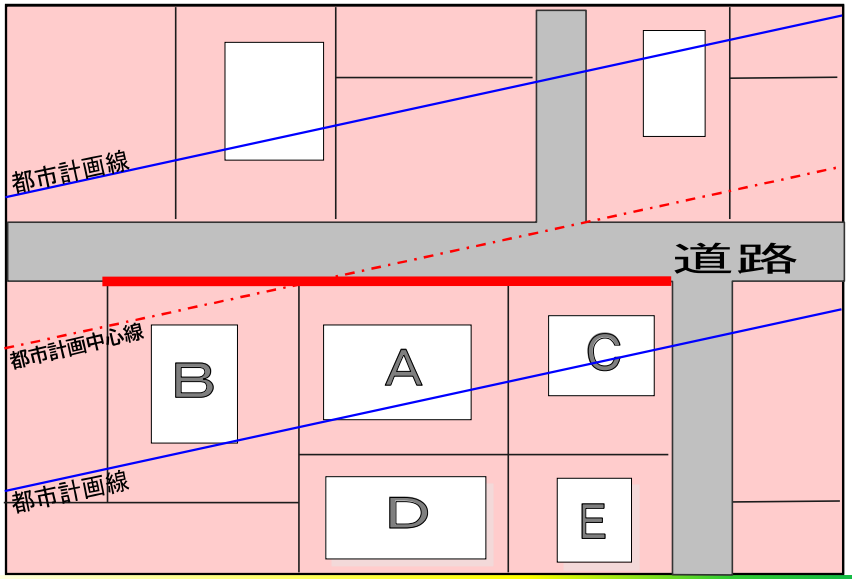
この通知状と印鑑

代理人の方が立会う場合は委任状が必要

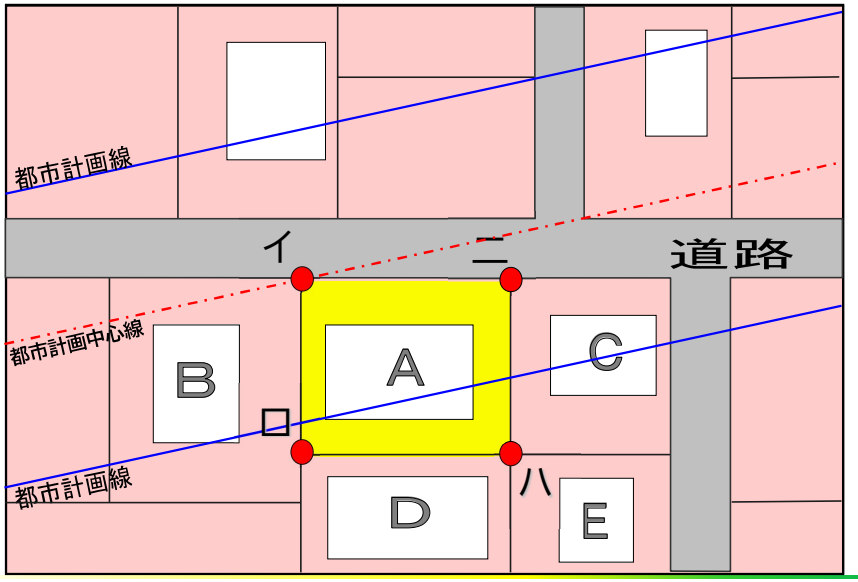
境界確認の手順（Aさんの場合）



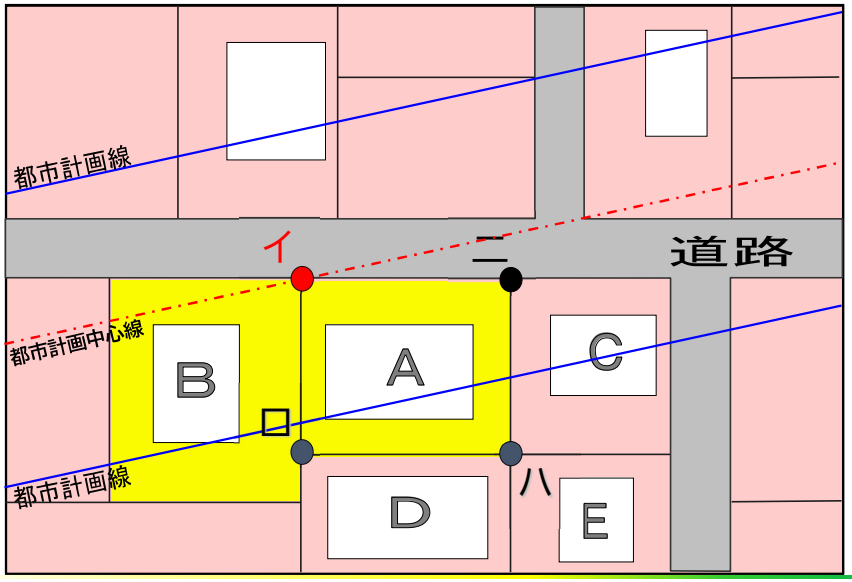
公共用地と私有地との境界を確認する手順



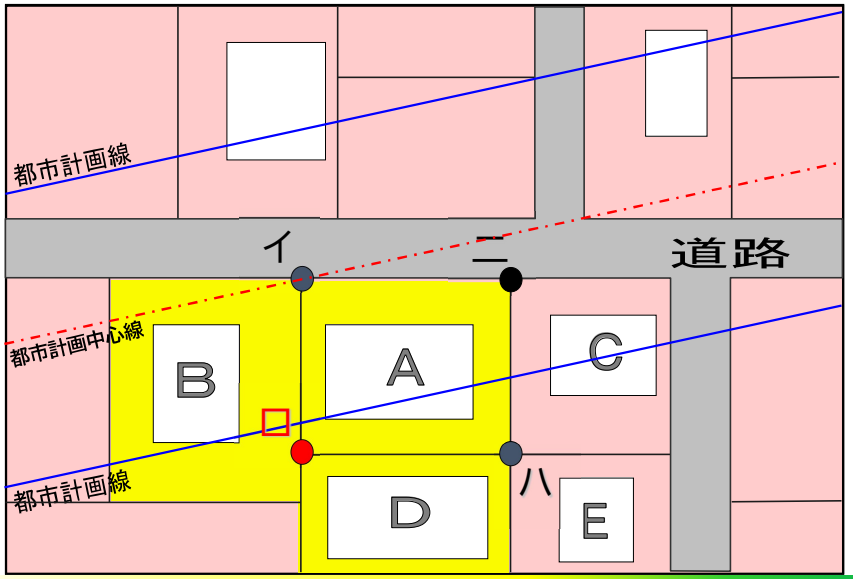
私有地と私有地との境界を確認する手順



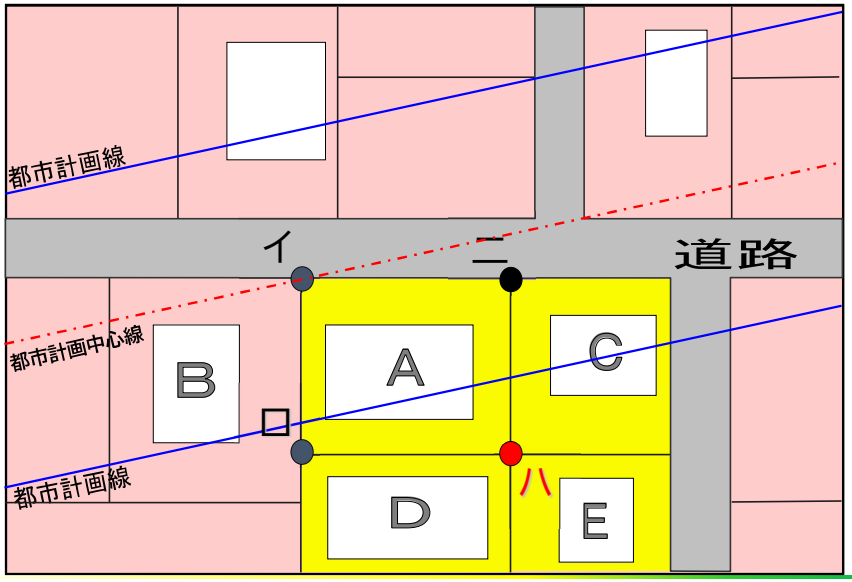
私有地と私有地との境界を確認する手順



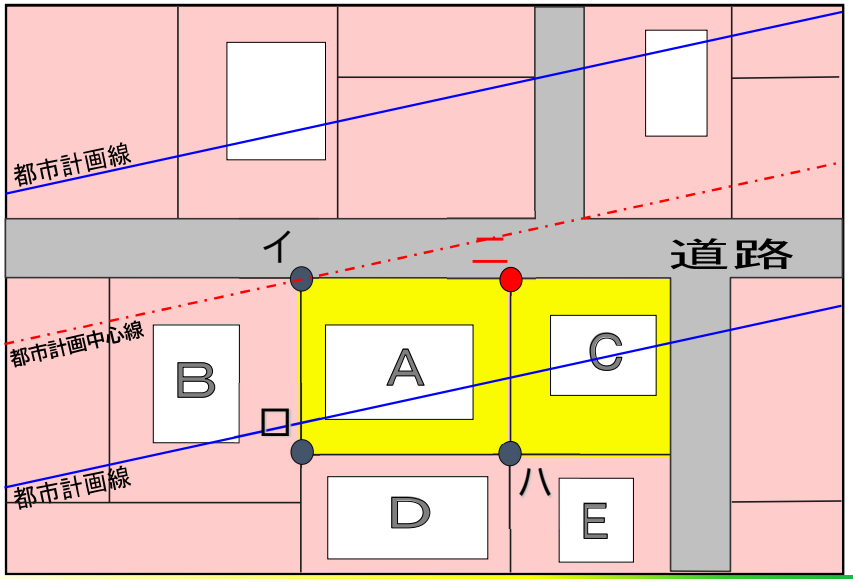
私有地と私有地との境界を確認する手順



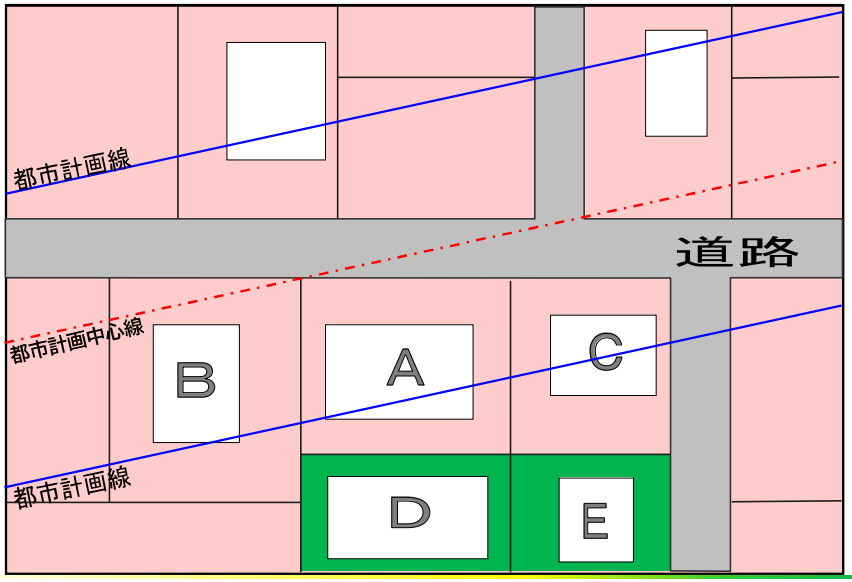
私有地と私有地との境界を確認する手順



私有地と私有地との境界を確認する手順



私有地と私有地との境界を確認する手順



立会証明書

別紙第9号様式(第32条関係)　　嘱託登記用

立 会 証 明 書

土地の表示　　○○市○○町五丁目63

上記の土地を測量するに当たり、下記のとおり隣接所有者と立会いし、土地の筆界について異議なく確認されたものである。

隣接地番	所有権者	立会人住所(上)氏名(下)	所有者との関係	確認年月日	押印
63	東京太郎	○○市○○町五丁目○番○号 東京 太郎	本人	令和 2年 7月 19日	㊞
64-9	○○○○	○○市○○町○番○号 ○○ ○○	本人	令和 2年 8月 1日	㊞
62－2（市道）	○○市	別添境界確定図のとおり(市道第○○号線)		年 月 日	
無番地（都道）	東京都	東京都○○建設事務所 管理課 主事 ○○ ○○	処理担当者	令和 2年 7月 19日	㊞
無番地（河川）	東京都	別添荒川区域確定図のとおり(○○川)		年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	

本立会証明書のとおり立会いの事実を確認し、測量をしたものであることを証明します。

令和　年　月　日

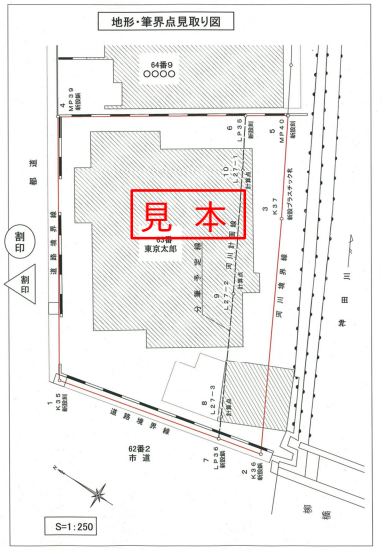
調査　測量者職氏名

東京都○○建設事務所工事第○課測量係

主事　○○ ○○　　印

注1 管理人、代理人が立会いした場合は、その者の住所・氏名を併記して押印する。
2 この立会証明書と境界を明らかにした図面を合綴した場合は、立会者の契印をする。

見本



見本

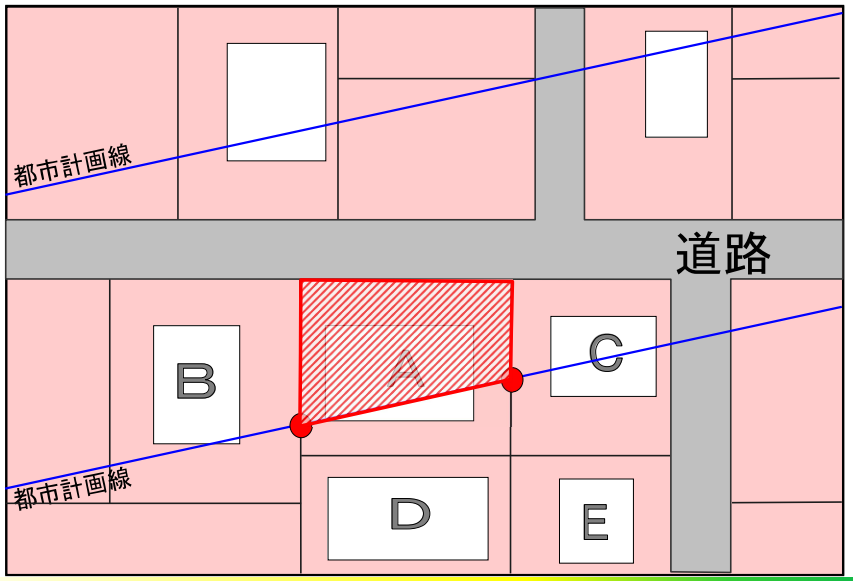
3. 境界点の測量

・境界立会いで確認された境界点を測量します。

・この測量は、皆様に立会いをお願いすることはありません。

・しかし、測量のため、再度、皆様の土地に立入らせていただきます。

4. 都市計画線の位置を示す杭等の設置



用地測量に伴う宅地、畑等への立ち入り

用地測量の作業において、地権者等の方の宅地、畑等に立入りをさせていただきます。

- 境界を確認するための資料収集等
- 境界点の測量
- 都市計画線を示す杭等の設置

皆様の宅地、畑等に立ち入る際には、必ずお声がけ等をいたしますので、ご協力をお願いいたします。

身分証明書と腕章の見本

・測量作業は、東京都が委託した測量会社が行います。

・測量にあたっては、身分証明書を常に携帯し、腕章をつけて作業を行います。

5　用地取得に伴う補償のあらまし

用地取得に伴う補償のあらまし

土地売買代金

物件移転補償金

1. 建物移転補償
2. 工作物移転補償
3. 立木補償
4. 動産移転補償
5. 仮住居補償
6. 借家人に対する補償
7. 営業補償
8. 家賃減収補償
9. 移転雑費補償

皆様方のご理解とご協力をお願いいたします